

第4次玉名市男女共同参画計画に掲げる指標達成実施状況報告

【令和5年度】(1年目)

No.	項目	R5実績値	最終年度 (R9年度) 目標	R5年度の実施状況	担当課
1	市における審議会等への女性委員の登用目標	26.3% (R5)	35.0%	全庁的に女性委員の登用を積極的に促進するよう委員選定の段階から具体的手法を示すほか、女性登用の利点などを説明し、登用率向上に努めた。市全体で女性委員登用について更なる意識の向上と、登用率向上への仕組みを確立することが必要である。	人権啓発課
2	市女性職員の管理職登用	5.8% (R5)	15.0%	令和5年度の女性職員の管理職登用率は5.8%(3人/52人)であるが、係長級以上に占める女性職員の割合は32.8%(87人/265人)となっており、徐々に女性管理職候補の層は厚くなってきている。	総務課
3	女性農業者の研修参加者数	56人 (R5)	85人	<p>●玉名市認定農業者連絡協議会(本部) 女性部研修会 目的:女性が輝く観光農園の取組み等についての研修 実施日: R5.7.28 場所: 水俣市(福田農場) 参加者: 27名</p> <p>●横島支部認定農業者協議会 女性部研修会 目的: フラワーアレンジメント等を通じて親睦を深めることを目的とした研修 実施日: R5.11.15 場所: 横島町公民館 参加者: 16名</p> <p>●天水支部認定農業者協議会 女性部研修会 目的: フラワーアレンジメント等を通じて親睦を深めることを目的とした研修 実施日: R5.8.22 場所: 天水町公民館 参加者: 13名</p> <p>※ 玉名支部及び岱明支部認定農業者協議会における女性部研修会は、未実施。</p>	農業政策課
4	「男女共同参画社会基本法」の認知度	27.2% (R3)	60.0%	啓発講座開催時に「男女共同参画社会基本法」について説明を行った。また、情報発信は重要であることから、広報・ホームページで啓発を図った。「男女共同参画基本法」の認知度の向上は、人権意識の醸成も踏まえ、今後も継続して、周知の強化と啓発に努める。	人権啓発課
5	市の女性区長数	7人 (R5)	10人	区長の選出は、地域自治に関わることであるため、行政は関与できないが、相談があった場合には適切に対応していく。	総務課

6	固定的性別役割分担意識に同感しない市民の割合	77.2% (R3)	持続的に増加させる	固定的性別役割分担意識解消に向け、講座のテーマとして企画し、周知・啓発を行った。また、市民向け講演会では潜在的な固定的性別役割分担意識解消について啓発した。併せて、広報紙・ホームページで男女共同参画計画に関する基礎的内容を踏まえ幅広く市民に周知した。今後も多様化・複雑化する社会情勢に合わせた啓発と、各年代に応じた啓発の手法を工夫し、継続的に意識改革を行っていく。	人権啓発課
No.	項目	R5実績値	最終年度(R9年度)目標	R5年度の実施状況	担当課
7	「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」の認知度	24.1% (R3)	50.0%	「ワーク・ライフ・バランス」の実現のため、国の取り組みや関係法令・制度等を広報紙及びホームページで、市民や事業所等に広く周知・啓発を行った。今後も、女性活躍推進に伴い働き方改革や家庭における意識改革を促進しながら、加速的に変化する社会情勢を的確に把握し、周知・啓発を継続的に行っていく。	人権啓発課
8	放課後児童健全育成事業実施数	21クラブ (R5)	21クラブ	放課後児童健全育成事業では、市内小学校区21クラブで継続した実施を行っている。	子育て支援課
9	性的少数者(LGBT等)の理解度	57.1% (R3)	75.0%	11月、1月に職員向けの人権研修を行い、その中に、「性的少数者(LGBT等)の理解を深めるDVD視聴を取り込んだ研修を行った。各年代層の職員にも理解促進を図ることができた。今後も継続して、理解促進を図っていく。 各講座終了後には追跡アンケート調査を実施し、認知度を確認した。半数が理解しているとなった。	人権啓発課
10	レディースがん検診の受診率	子宮頸がん 10.0% 乳がん 24.0% (R5)	子宮頸がん 20.0% 乳がん 40.0%	〈子宮頸がん検診〉 病院での受診期間は7か月間、集団健診は土日含む30日間で実施 無料クーポン券の対象年齢は21歳、対象者数は291人で受診率は10.0%だった。 〈乳がん検診〉 病院での受診期間は8か月間、集団健診は土日含む30日間で実施。 無料クーポン券の対象年齢は41歳、対象者数は335人で受診率は24.0%だった。 広報たまなへは3回掲載、対象者全員へ無料クーポン券を送付、未受診者には受診勧奨のハガキを送付し周知に努める等、受診環境は整えているが、受診率は目標値を下回っている。	保健予防課
11	女性消防団員数	12人 (R5)	16人	昨年度から隊員数が2名減少した。継続して入隊募集を行っているが、仕事と子育ての両立が難しく、加入に繋がりにくい。	防災安全課